

# MESH準備編

# MESHのテプラをはりましょう

MESHブロックにそれぞれテプラで番号をはり、iPadとセットで使用できるようにしましょう



# iPadは充電しておきましょう

授業で使用するiPad1~8(予備も準備)は事前に充電をしておきましょう



# MESHブロックの充電をしましょう

USBケーブルをさして充電しておきましょう



ケーブル・USBハブなど  
があると、まとめて充電出  
来て便利です



MESH専用充電器なども  
あります

## 残量の確認方法



緑：50%以上



黄：30%以上



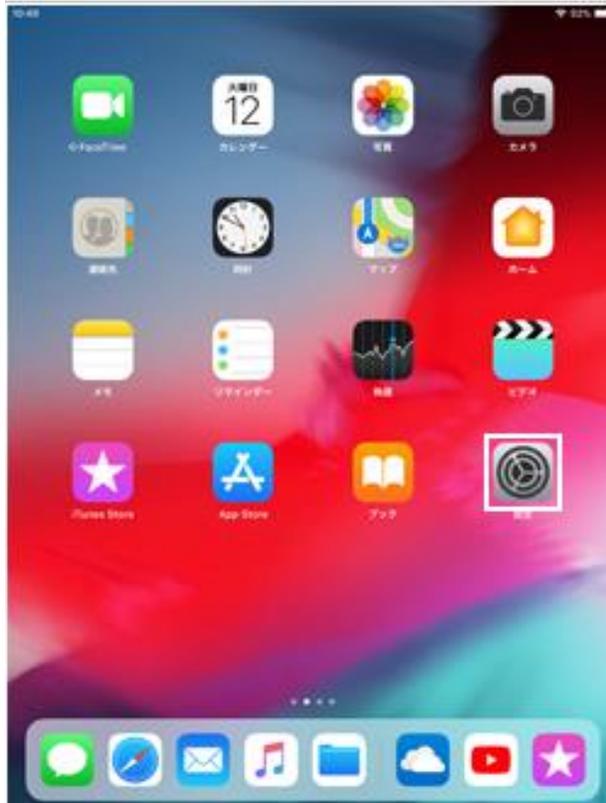
赤：30%未満



光らない：0%

# iPadのOSを最新にしておきましょう

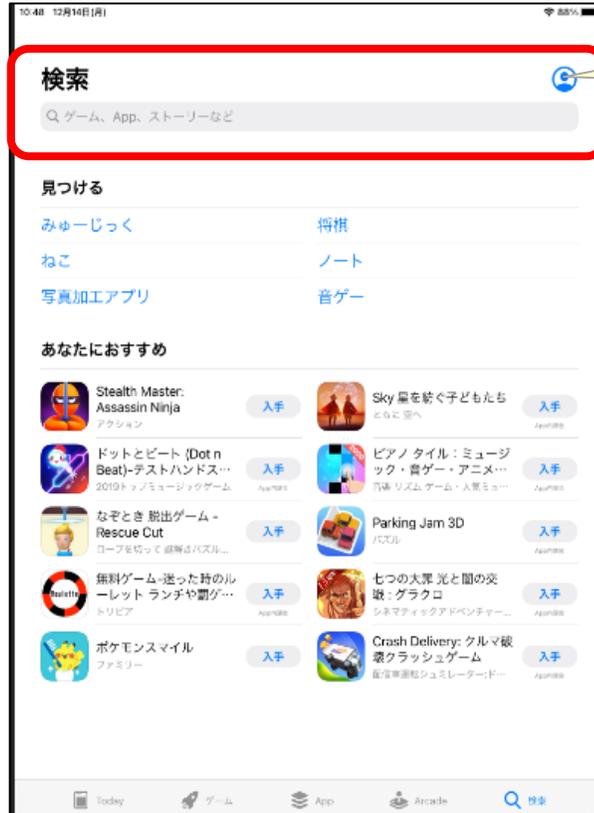
- ・学校のiPad (×7台) を準備します
- ・iOSのバージョンを最新にしましょう



アップデート時に**AppleID**が必要になります。  
1台ずつ別々のIDが発行されていますので、情報担当者(ピンクファイルのとじ込み)を確認してください

# MESHのアプリの準備をしましょう

- ・MESHのアプリを最新にアップデートしましょう  
(アプリがない場合はインストールしましょう)



MESHと入力して  
アプリを  
検索します



※WEBで詳細マニュアル公開中



# 人感センサー用の筒を準備しましょう

人感センサーは近くに反応してしまうので、筒を作って使用しましょう



※WEBで詳細マニュアル公開中

# 命令のタグ一覧を印刷しておきましょう

各ブロックの命令の一覧（2時間目に利用）を  
グループに配布できるように準備しておきましょう

両面印刷してパウチ  
などすると便利です

**人感センサーの命令**

人感 感知したら → センサーが動きを感知した時に次の命令へ進む  
人感 感知しなくなったら → センサーが動きを感知しなくなった時に次の命令へ進む  
人感 状態を確認する → 設定した条件（感知した/しない）になっていれば次の命令へ進む

**明るさセンサーの命令**

明るさ 明るさが変わったら → 明るさ変化があった時に、設定した明るさの範囲(1~10)になっていれば次の命令に進む  
明るさ 明るくなったら → 暗い所から明るくなった時に実行  
明るさ 暗くなったら → 明るい所から暗くなった時に実行  
明るさ 明るさを確認する → 設定した明るさの条件(1~10)になっていれば次の命令へ進む

**GPIO の命令**

GPIO 電源出力 → プログラムスイッチを ON/OFF する

**MESH ブロックの電源 ON**

①ブロックを長押しします→白く光ったら手をはなす  
②ブロックをもう一度押して緑に光ったら OK

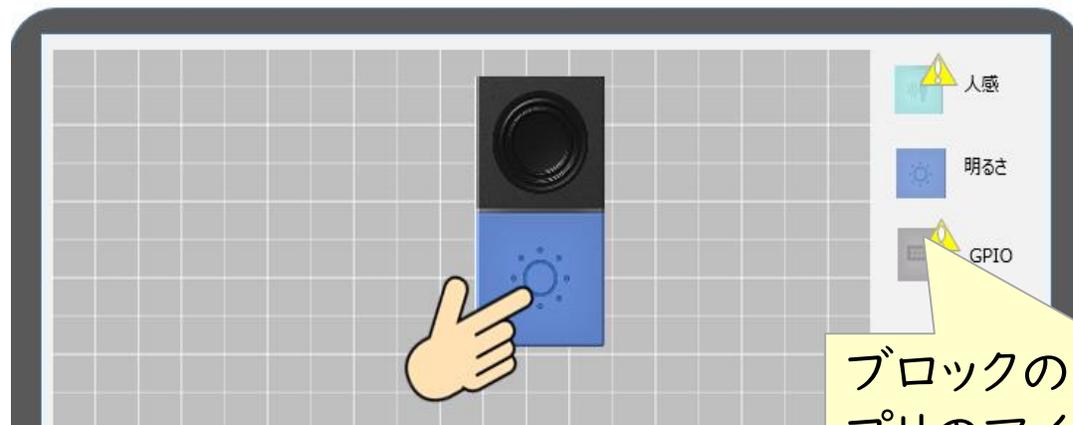
ブロック電源 ON で  
該当のタグのマークが消えます

**MESH ブロックの電源 OFF**

アイコンを長押しして電源を OFF しましょう  
※もう一度ピッと押して光らなければ電源は OFF になっています

# MESHとiPadのペアリングをしましょう

事前にiPadとMESH(同番号)をペアリングしておきましょう



ブロックの電源を入れるとアプリのアイコンのビックリマークが消えて、接続完了



戻る

ペアリング

キャンセル

OK